

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第30回 西脇市子ども・子育て会議
開催日時	令和7年1月22日（水） 午後1時30分から3時00分まで
開催場所	西脇市役所 委員会室
出席委員の 氏名又は人数	11名
欠席委員の 氏名又は人数	6名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局11名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議事又は 報告事項	1 第2期子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業計画の量の見込み等に係る見直しについて 2 パブリック・コメントの実施結果について 3 その他
会議の記録（概要）	
事務局 会長	<p>○開会 ○教育創造部長挨拶</p> <p>【議事】 <第2期子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業計画の量の見込み等に係る見直しについて></p> <p>資料1に基づき、事務局より説明</p> <p>先程の説明に対して意見はあるか。</p>

委員	<p>本案は、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みに関する見直しだが、この時期に見直すのは適正なのか。</p>
事務局	<p>本来なら当初予算が通過した時点で見直すことが道理だと思うが、現在第3期の子ども・子育て支援事業計画を策定していること、また、子ども・子育て支援交付金の交付決定までに見直す必要があることから、本日の会議にかけさせていただいた。</p>
委員	<p>今回見直した子育て世帯訪問支援事業の対象家庭の選定はどう判断しているのか。</p>
事務局	<p>相談員等が家庭の状況を把握する中で対象者を確認し、その後検討会で決定している。</p>
会長	<p>もれがないということですね。</p>
委員	<p>このような家庭への主任児童委員の帯同について、問題が起こってからではなく、常日頃の新生児訪問などの際に、主任児童委員を帯同するなど本計画に付け加えられたら、公的な立場で主任児童委員が接することができるのではないか。</p>
事務局	<p>はぴいくサポートセンターでは、妊娠届や新生児訪問の際に心配事があれば主任児童委員へのかかわりをお願いしている。ただ、相手の了解等もあることから全件においては難しいが、今後ともよろしく願います。</p>
委員	<p>相手の気持ちなどもあるので、深入りし過ぎず、適切な距離での支援ができればと思う。</p> <p><パブリック・コメントの実施結果について></p>
事務局	<p>資料2、3に基づき、事務局より説明</p>
委員	<p>子どもに対する回答に関して、「検討します」や「考えます」といった書き方では、意見を言っても仕</p>

事務局	<p>方ないと考える子どもが出てくるのではないか。難しいかもしれないが一つくらいは「このようにします」といった文言があってもよいのではないか。</p> <p>公園の改修等、予算の都合で難しいため、返事ができないのは心苦しいが、読んだときに、自分たちの意見がプラスにならないというのは問題かと思う。公表資料の書きぶりに関しては検討し意見をいただいたことへの感謝を伝えるようにする。</p>
会長	<p>こういう方向に進んでいるということが分かれば自分たちの意見が無駄でないとわかるので、書きぶりについては検討をお願いする。</p> <p>小児科医と産科医が少ないことは事実で、危機的な状況にある。将来西脇市に帰ってきたいという中学生も少なく、彼らが将来西脇市で暮らしたいと思えるようなテーマを挙げられるとよい。西脇市の健康寿命の長さも売りになるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>会長の意見にもあったが小児科医と産科医は重要。子どもは大人の小型ではなく、子どもは小児科医で見てもらおうという気運が高まればよいと思った。</p> <p>子どもの意見にあった橋については、実際に意見をくれた子どもと見に行ったのか。</p>
事務局	<p>職員のみが見に行った。</p>
委員	<p>職員が子どもと一緒にいけば、意見をくれた子どもの印象も変わると思うので、ぜひ努力していただきたい。</p>
委員	<p>実際、この橋は結構狭い上に欄干が低く、横格子となっているため、よじ登ろうと思えばよじ登れる。万一落ちたら死亡率も高いと考えられる。</p>
委員	<p>インフルエンザが流行しているが、寒すぎて換気ができず広がったと小学生から聞いた。子どもの安全の部分でもエアコンは各先生の裁量にならないのかと思</p>

	<p>う。緩和的な回答を入れていただければと思う。</p> <p>もう1点、パブリック・コメント数27件というのは多いのかどうか。</p>
事務局	<p>パブリック・コメントの件数に関しては計画により違うが、近年では27件という数字は多い。</p> <p>橋の調査に関しては、パブリック・コメントを頂いた際に氏名も記載されているので、こちらから連絡をとってみて担当課と調整したい。</p>
委員	<p>エアコンに関して、夏はエアコン、冬は暖房とストーブという形をとっており、換気は廊下の上の窓を開けるといふ対応を取っている。</p>
会長	<p>他に意見が無ければ、こども計画は原案どおりに進めさせていただくがよいか。</p>
委員	<p>了承</p> <p><重層的支援体制整備事業について、こどもプラザキッズ・ジュニアサポーターの活動について></p>
事務局	<p>資料4・5に基づき、事務局より説明</p>
会長	<p>こどもプラザキッズ・ジュニアサポーターの活動はこれからも続けていくのか。</p>
事務局	<p>続けていく予定でいる。メンバーは新規も募り、継続参加も有りと考えている。現在はMiraie周辺の子どもの参加が多いので他地区からの参加も募りたい。</p>
会長	<p>小学生と高校生ではファシリテートも難しいのではないか。</p>
事務局	<p>お互いに認め合う雰囲気が形成されている。今回、イベントで実施した「みらくじ」は小学3年生の発案である。</p>
会長	<p>3月23日のこどもプラザフェスタでは、何をするの</p>

	か。
事務局	高校等が様々なイベントを企画している。キッズ・ジュニアサポーターはイベントスタッフとして受付等を担当してもらう予定となっている。
委員	小学生・中学生・高校生が対象なのか。
事務局	そのとおりだが、中学生はどうしても部活動の関係で参加が難しい。
委員	中学生は部活が忙しく、土日は大会出場等があり継続して参加することは難しいが、単発のイベントなら参加も可能なこともある。様々な経験を積むことが必要だと考えているので、情報共有をしていきたいと考えている。
会長	<p>高校生には感謝状等のインセンティブがあればよいかもしれない。大学入試時に公的ボランティアの活動等は有利に働くとのことなので、そういったものを市で用意できればより多くの子どもが参加してくれるのではないか。</p> <p>重層的支援体制整備事業に関しては、折をみて、ご教示いただきたい。</p>
委員	重層的支援体制整備事業はこれまでの縦割り行政の解消につながるもので、すばらしいと思う。一番心配しているのは、西脇市にこの事業を行う人的余裕があるのかという点だがどうなのか。
事務局	人的な対応という点はこの事業に関して重要な点だと思う。多機関協働事業では、包括化推進委員を配置し支援プランの設計等を行うが、現在推進委員は1人配置され、来年度から2名に増員する予定となっている。
会長	市職員が行うのか。
事務局	そうになっている。

会長	重層的支援体制整備事業は国の方針で、西脇市はこういう対応をとるという認識でいいのか。支援体制の必要なケースはさらに増加すると見込まれるがどうなるのか。
事務局	8050問題やヤングケアラー等の問題も増えてきており、対象のケースは増加すると思われる。
委員	重層的支援体制整備事業に関して、特に難しい問題になるのは個人情報ではないか。昔に比べればハードルは下がってきたが、本人の同意が得られていないために動きが止まるということはよくあるので、難しいとは思いますが、この壁を打破してもらいたい。
委員	困っている保護者が相談に来られても、学校としても個人情報の観点からどの情報をやり取りしてよいかの見極めが難しい。小中学校と福祉部の連携をこれからも行っていきたい。
委員	キッズ・ジュニアサポーターについて、活動が得意な子どもだけが集まる懸念がある。皆が楽しく活動している写真等を掲載して、僕らでもできるように参加のハードルを少しでも下げてはどうか。
委員	たとえば、市の大型モニターなどを活用して写真等をスライドで流したり映像を流したりしてはどうか。
委員	黒田庄等の子どもの参加のために、無料送迎バスなど、子どもが一人でも来られるような方策をとってもらえると親としてはありがたい。 子どもに配るこども計画概要版の冊子に関して、愛着を持ってもらうために、挿絵を子どもや親に募集して掲載すればいいのではないかと思う。
会長	検討いただけたらと思う。 今年度の会議はこれで終わりだが、次年度からは別の議題となるのか。
事務局	本計画の進捗等を考えている。

	<ul style="list-style-type: none">○福祉部長挨拶○閉会
問合せ先	西脇市福祉部こども政策課 電話：0795-22-3111（代）